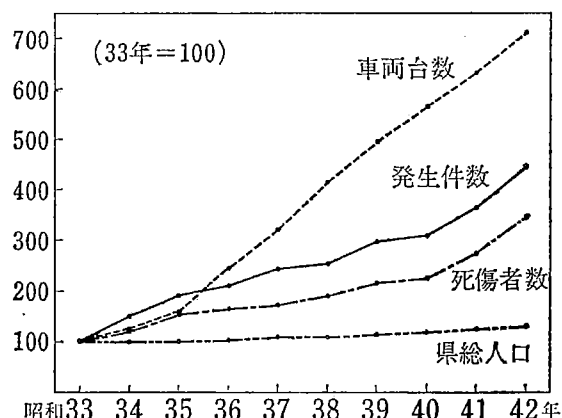


## 109. 交通 事 故

経済の著しい成長にともない、輸送構造が大きく変わり、自動車輸送が年々増大して、自動車台数、自動車交通量の増加に伴って、交通事故も増加の一途をたどり、昭和42年中の交通事故死傷者数は、18千人で前年より、30.5%の増加をしている。このうち幼児、小中、高校生の死傷者は3,600人(19.8%)となっている。

事故件数を原因別にみると、運転者の安全運転義務違反がもっとも多く、全体の28.9%を占め、ついで酒酔い運転、追い越し違反となっている。

交通事故および死傷者の推移



年	交通事故件数と被害状況						
	件数	(うち)車等による原因	死傷者数			物の損害額(1000円)	
			総数	(うち)男	死亡者数	傷者数	
昭和37年	9 625	9 036	8 095	6 207	393	7 702	323 035
38	10 108	9 391	8 877	6 723	357	8 520	406 276
39	11 812	11 081	10 379	7 882	369	10 010	479 909
40	12 185	11 125	10 819	8 269	393	10 426	538 614
41	14 428	13 458	13 918	10 577	426	13 492	711 103
42	17 627	16 709	18 160	13 953	409	17 751	798 786

原因別事故件数 (昭和42年)

原因	件数	構成率(%)	原因	件数	構成率(%)		
総数	17 627	100.0	スピード違反	283	1.6		
車	安全運転義務違反	5 096	28.9	横断(転回)不適当	249	1.4	
	酒酔い(酒気帯び)運転	1 725	9.8	過労運転	238	1.4	
	追い越し違反	1 273	7.2	信号無視	208	1.2	
	交差点の徐行違反	1 134	6.4	踏切通行違反	138	0.8	
	車間距離不保持	1 006	5.7	合図不履行	122	0.7	
	ハンドル等操作不確実	867	4.9	制動装置不良車運転	88	0.5	
	歩行者の通行妨害	856	4.9	その他	439	2.5	
	右折違反	776	4.4	歩	飛行者	918	5.2
	法定指定場所徐行違反	507	2.9		飛び出し	771	4.4
	右側通行	463	2.6		車の直前直後横断	46	0.3
	一時停止違反	330	1.9		めいてはいはいか	33	0.2
	優先通行違反	307	1.7		信号無視	24	0.1
	左折違反	302	1.7		踏切不注意	23	0.1
	後退不適当	302	1.7		踏切上の遊	15	0.1
					その他	6	0.0